

抗菌薬使用の集計に関する用語集

	用語	説明	具体的な使用例	計算式
抗菌薬使用の単位	DDD (複数形: DDDs) Defined Daily Dose	WHOが定義している測定単位。臨床現場での推奨投与量ではなく、医薬品の主な適応症に対する成人の1日仮想平均維持量*1。	セファゾリンのDDDは3gである。病院Xにおいて、患者Aにセファゾリンが1回1g、1日3回、7日間投与された場合、7 DDDsである。	$21 \text{ g} \div 3 \text{ g} = 7 \text{ DDDs}$
	DOT (複数形: DOTs) Days of Therapy	主に小児や高齢者、重症患者など、実際の投与量とDDDが一致しない場合に、抗菌薬使用の指標として有用とされる。用法用量に関わらず、患者に投与された日数。薬剤が併用された場合はそれぞれの投与日数を数える。	病院Xにおいて、患者Aにバンコマイシンが1回1g、1日2回、7日間、ドリペネムが1回1g、1日3回14日間投与され、同時に開始された場合、21 DOTsである。	$7 \text{ DOTs} + 14 \text{ DOTs} = 21 \text{ DOTs}$
	LOT (複数形: LOTs) Length of Therapy	併用の有無に関わらず、患者に投与された治療期間であり、開始日から終了日までの日数を数える。	病院Xにおいて、患者Aにバンコマイシンが1回1g、1日2回、7日間、ドリペネムが1回1g、1日3回14日間投与され、同時に開始された場合、14 LOTsである。	総治療期間より 14 LOTs
病院などにおける抗菌薬使用の指標	DDDs/100 bed-days DDDs/100 patient-days	抗菌薬の選択圧を評価する指標。ある一定の期間・範囲（病院など）において、使用された使用量（力価）をDDDで換算した（除した）値をさらに、同一期間・範囲の在院患者延数で除して100*2を乗じた値。この数値を抗菌薬使用密度（Antimicrobial use density: AUD）と呼ぶこともある。	病院Xにおいて、一定期間のメロペネム（DDD = 3）の使用量が5 DDDs/100 bed-daysであった場合、「病院Xでは該当期間中に3gのメロペネムが投与された患者が100床・日あたり、5人いた」という意味になる。	$(\text{一定期間の使用量} \div \text{DDD (DDDs)}) \div \text{在院患者延数 (床・日)} \times 100$
	DOTs/100 bed-days DOTs/100 patient-days	抗菌薬の選択圧を評価する指標。ある一定の期間・範囲（病院など）において、使用された治療日数の合計値を同一期間・範囲の在院患者延数で除して100*2を乗じた値。	病院Xにおいて、一定期間のメロペネムの治療日数が5 DOTs/100 bed-daysであった場合、「病院Xでは該当期間中にメロペネムが投与された患者が100床・日あたり、5人いた」という意味になる。	$\text{治療日数 (DOTs)} \div \text{在院患者延数 (床・日)} \times 100$
適正使用の指標	DDDs/DOTs	DDDs/100 bed-daysとDOTs/100 bed-daysの比。実際の投与量がDDDと異なる場合、1からかけ離れた値となる。経時的に見た場合、治療日数の変化にも影響される。	病院Xで、メロペネムのDDD/DOT=0.5であった場合、投与されている量がDDDの半分で使用されている可能性がある。	$\text{DDDs/100 bed-days} \div \text{DOTs/100 bed-days}$
地域における抗菌薬使用の指標	DDD/1,000 inhabitants/day (DID)	地域の抗菌薬使用を評価する指標として用いる。使用された量（力価）とDDDを用いて住民1,000人、1日あたりの使用状況を表す。	日本においてメロペネム（DDD = 3）が5 DDDs/1,000 inhabitants/dayであれば、「3gのメロペネムを投与された人が、国民1,000人あたり1日に5人いた」という意味になる。	$(\text{一定期間の使用量} \div \text{DDD (DDDs)}) \div \text{住民数 (1,000人)} \div 365 \text{ (日)}$

*1 WHOが定義する、「体重70kgの成人が主な適応症の中等症に罹患した場合に用いる」と考えられる用量。実際の処方用量とは乖離する。

*2 1000を乗じて1000 patient-daysと表現する場合もある。他のデータと比較する場合、分母がどの数に乗じているかには注意する必要がある。